

今治市のG I G Aスクール構想への取組

国が掲げる「G I G Aスクール構想の実現」に向けた事業が令和元年度から本格化しましたが、コロナウイルスの感染拡大による社会情勢の大きな変化が発生し、事業の大幅な前倒しが発生するなど計画変更が行われました。結果として数年かけて行われる予定であった端末整備が1年で行われ、「1人1台端末は令和の学びのスタンダード」と言われています。

国の掲げるG I G Aスクール構想

Society5.0時代を生きる子供たちの未来を見据えた学びを実現するため、まず、1人1台の端末と高速通信ネットワークの整備が推進されました。

これまでの教育
実践の蓄積

×

I C T活用

⇒

学習活動の充実
主体的・対話的で深い学びの
視点からの授業改善

今治市の取組状況

今治市においても令和2年度内にG I G Aスクール構想の土台となる校内L A N整備・児童生徒1人1台端末整備を行いました。引き続きソフトウェアを含めた環境整備や教職員研修等を行います。

令和2年度

○ハードウェア整備

- ・校内L A N・無線環境整備
- ・児童生徒1人1台端末整備
- ・電子黒板導入

令和3年度

○ハードウェア整備

- ・インターネット環境改善
- ・電子黒板追加導入
- ・W e bフィルタリング導入
- ・情報通信機器購入

○ソフトウェア整備

- ・指導者用デジタル教科書導入
外国語・英語（小学校5・6年／中学校1～3年）
理科（小学校3～6年）
算数・数学（小学校1～6年／中学校1～3年）
- ・授業支援ソフト・ドリルソフト導入
- ・I C T支援員配備

○教職員研修

- ・操作研修・スキルアップ研修等

